

徳島市佐古学校
「学力向上実行プラン」

主体的・対話的に深く学び、自ら「生きる力」を育む子どもの育成
～自信をもって、思いや考えを表現できる子どもを育てる～

学力向上推進員 佐藤真奈美 鴨頭俊輔 (主幹教諭・研修主任)	委員 竹内照記校長, 元木宏治教頭, 黒羽建治教務主任 池光貴保子, 宮本瑠音, 谷敦子, 多田雛, 林直美, 重友里央樹
---	--

校長 竹内 照記

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○昨年度の県ステップアップテストでは、平均正答率が県平均以上であり、基礎的・基本的な知識・技能は、概ね身に付いていると言える。 ●学力に個人差が見られる。文章を読み取る力や自分の言葉で表現する力が弱い児童もいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 ・話の内容を正確に聞き取り、自分の考えを伝えることができる。 ・正しく文章を読んだり書いたりできる。 ・タブレットを活用し、調べ学習をしたり復習問題をしたりできる。	・スキルアップタイムや家庭学習を計画的に工夫して行う。 ・教材教具や板書などを工夫し、「わかる授業」を行うことにより、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・タブレットを活用した個別最適学習を実践していく。			

(2) 思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○相手を意識した手紙や作文、行事の感想などにおいて文章表現力に優れている児童が多い。 ●自分の考えや思いを、筋道を立てて説明したり、友達の考えと比べて自分の考えを表現したりすることに課題がある。	・友達の意見や思いを受けて、理由を明らかにしながら自分の考えを表現することができる。 ・読みとったことやそれに基づいて考えたことを、目的や条件に応じて話したり書いたりできる。	・発表ナビ(話型)を活用し、表現の仕方を身につけさせる。 ・感染対策を行いながら発表活動やペア学習、グループ学習の場を設け、学びを深められるようにする。また、意見の共有に、タブレットやホワイトボードを効果的に活用する。			

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題については真面目に取り組む、最後までやり遂げることができる児童が多い。 ●分からないことがあっても最後まであきらめない気持ちや疑問に思ったことについて追求しようとする意欲が乏しい。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・興味のあることを進んで調べたり、自ら課題を設定して自主学習や読書活動に取り組んだり、タブレットを活用したりできる。	・授業内容を工夫したり、体験的な活動を多く取り入れたりする。 ・「めあて→振り返り」の学習サイクルの確立することで、本時の成果や次時への課題をもつことができるようにする。 ・タブレットをさらに活用し、自ら調べたり練習したりする機会を増やす。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

